

第61回西宮市人権・同和教育研究集会

【報告概要】

分科会	分散会	報告団体	報告の概要
1	就学前教育	① 山口幼稚園	園の人権教育目標「互いに認め合い、共に伸びる子供の育成」から、幼児理解や教師の援助、家庭との連携について報告。 ・愛着関係を築く・自尊感情を育む ・友達の良いさに気づき、支え合える仲間づくり ・園と保護者が連携して、共に子育てをしていくための取り組み ・自ら健康に過ごすための保健指導と家庭との連携
		建石保育所	・安心できる環境のもと一人一人の思いや姿をありのまま受け止めて、自己肯定感を育みながら、互いに認め合い、仲間と共に意欲的に遊ぶ子供を育てることを目指した取り組み。 ・職員の人権意識を高め、子供を多面的に捉えながら一人一人を大切にすることで、子供理解を深めていく取り組み。 ・保護者と保育所とが連携して、共に子育てをしていく取り組み。
		② 生瀬幼稚園	園の人権教育目標「互いに認め合い、共に伸びる子供の育成」の取り組みについて報告。 ①自分で植えたい野菜を決めて取り組んだ栽培活動について ②併設園ならではの小学生との交流について ③「自分だけの大事なからだ」を知り、考える保健指導について
		鳴尾保育所	・安心して自分の思いを出せるよう一人一人の子供のありのままの姿を受け止め、寄り添う関わりを大切にすることで自尊感情を育み、友達との関わりの中でお互いに認め合える仲間作りを目指した取り組み。 ・職員は、一人一人の子供を尊重し、自らが子供に大きな影響を与える存在であることを認識して保育実践を振り返ったり、職員間で話し合ったりすることを重ねて、職員の人権意識を高めるための取り組み。
2	学校教育	③ 広田小学校	本校では、めざす子ども像「笑顔 元気 さわやかなあいさつ」を合言葉に、全教職員が共通理解し、日々の教育活動に取り組んでいる。また、人権教育目標を「やさしいことばをひろげよう」と定め、各学年のねらいにそって、保護者の協力とともに、人権学習に取り組んでいる。教職員の学びの積み重ねと授業実践の報告。
		浜甲子園中学校	浜甲子園中学校は、教育目標「学ぶ意欲にあふれ、心豊かに、たくましく生きぬく生徒の育成」の下、教育活動を行っている。また、人権教育目標を「人間尊重の精神を基盤に、自他の生命と人権を大切にする心と実践力を育てる。」としている。生徒達は、中連体で発表する「人文字」だけでなく、「係別会」「合唱」「給食・掃除応援隊」という学校生活を通じた縦のつながりを意識した取り組みにより、学校の伝統をつなげていく様子を報告する。

第61回西宮市人権・同和教育研究集会

【報告概要】

分科会	分散会	報告団体	報告の概要
2	学校教育	学文中学校	教育目標「心豊かで、心身ともにたくましい生徒の育成」のもとに、生徒・学校・地域とのつながりを作り強めていくための取り組みを実施。不登校生徒への対応(別室の設置・一人一人対応など)、生徒同士の教え合い学習、学校安全管理ボランティアについて現状と成果・課題を報告。
		④ 甲陽学院高等学校	中高一貫の男子校である本校は、「気品高く教養豊かな有為の人材を育成することを目的とし、将来のより高度な学びに必要な学力と体力を錬磨する」という教育目標のもと、「明朗・澁刺・無邪気」の校風の中、生徒の「自主」「自立」「自律」を重んじた教育を行っており、これは人権教育にもつながっている。 今回の報告では、ジェンダー学習の取り組み(「男らしさ」とは何か)を報告し、「〇〇らしさ」に囚われすぎない生き方を生徒へ提示することの大切さについて考えたい。
		津門小学校	【人権感覚を磨く】をテーマに、子どもも教職員も人権感覚を高め、磨くための取り組みについての報告。 ・各教室に掲示している学校目標「こころ豊かに たくましく 生きる子」をめざして、実践していることや今後取り組みを続けることで、ぬくもり(温かさ)のある子どもを育てます。
		⑤ 仁川学院中学校	前回(2017年度)の研究集会報告後、本校で新たに開始した総合的な学習の時間「仁川の森」(主に園芸)での取り組みをベースに、報告させていただきます。主な目的としては、①自然を通して人や社会とのつながりを学ぶ、②クラス学年を超えた仲間との協力により、創意工夫と探求心を育むという2点が挙げられる。学校の内部だけで終わるのではなく、地域社会とのつながりに目を向け、教科や行事とのつながりも持ちながら、全てのものと共に生きる心を持った人材の育英を図っている。
		鳴尾小学校	子どもと子どもをつなぐ、子どもと教職員をつなぐ、職員同士をつなぐための取り組みについて報告したい。 ・子どもとの向き合い方や子どもの変容について ・「鳴尾タイム」について ・「人権学習参観・ほっとタイム」など学校独自の取り組みについて いろいろなことが便利になり、効率化されていく一方で、今まで大切にしてきたことも見直す機会になればと考えている。
		⑥ 西宮東高等学校	本校では、以下の2点を目標に人権教育活動を行っている。 1 基本的な人権の尊重の立場に立ち、自他を敬愛し、進んで他の人の幸福を願う人間育成をめざす。 2 人権感覚を高め、他の人を大切にする態度を身につけることをえざす。 以下3つの中から具体的な取り組みを取り上げ、報告する。 ①各学年の人権LHR及び人権教育 ②人権教育に関する職員研修会 ③生活指導委員会

第61回西宮市人権・同和教育研究集会

【報告概要】

分科会	分散会	報告団体	報告の概要	
3	進路と学力の向上	⑦	兵庫県立西宮甲山高等学校	本校は、「己を究め、ふれあいのなかに明日を開く」を校訓とし、生徒の身近な学校生活を通じて、生命と人権の大切さを理解し、共生できる心を育み、創造性豊かな人材の育成を目指す。生徒一人一人に、自ら進路を選択する力、希望する進路を実現する力を養う。そのために体験的な活動を通して、人間的なふれあいの中で、生徒が主体的に学習に取り組む態度を育て生徒の進路への意識を喚起し高めるとともに、進路選択・進路実現の基盤となる学力の向上を目指す。
			報徳学園高等学校	本校では「徳を以って徳に報いる一円融合の和の精神と、ヒューマニズム豊かな個性ある人間形成を図る」という一定不変の教育目標のもとに、報徳観と道徳的価値観をもって真の私学教育の理想を果たす役割とは何かという大きな課題を掲げ、今日的視野に立って建学の精神を再確認して、教育の実践の場において具現化することをめざしている。 「報徳講話」や講演会などを開催し、「徳」を伸ばし「生きる力」として社会貢献できる生徒の育成に取り組んでいる。
			大社中学校	大社中学校では、「仲間との学び合い」、「差別解消にむけた判断力、実践力を養う」、「授業を大切に、社会で自立して生きる力を育む」ことを人権教育目標に掲げ、現在も残る部落差別の解消に向けた学習と取り組みを進めている。 生徒たちは、広い校区内の5つの小学校から入学してきているため、家庭環境や生活習慣、地域や保護者の考え方や意識、価値観の違いが見られることもある。誰ひとり取り残さず、生き方保障をしていくために、小学校との連携を深めながら、仲間作り、学習習慣の定着、基礎・基本の学力の定着、そして自他共に大切にできる豊かな心と感性を育て、社会の中で人と関わりあって生きていく力を育むことを目指した取り組みを報告する。
4	企業・職場	⑧	(株)JFEスチール	当社は、人権尊重が企業の社会的責任であるとともに経営基盤の一つであると考え、企業行動指針に企業活動において一切の差別を行わないことを明示し、活動してきました。本報告では、指針となる「JFEグループ人権基本方針」、および人権啓発の推進体制、具体的な活動事例等について紹介します。また、企業が持続的に発展していくためには、高い生産性で新たな価値を創造しながら、従業員一人ひとりが仕事に誇りと働きがいを感じられる働き方の実現が不可欠と考えており、「多様な人材の確保と育成」の取り組みについても紹介します。
			(株)指月電機製作所	南海トラフへの地震対策について、建物の建替え、備蓄品確保、AEDの救急講習等を社内で検討し、建物関連では、現在の本社生産棟で老朽化が進んでいることから、現在の所在地で建替えを決定しております。 この建替えにより、耐震性能と防災機能を高めて安全性の確保とBCP強化を図り、従業員が安全で働きやすい職場環境の実現を目指します。 上記内容について推進し、南海トラフへの地震対策に備えていきます。

第61回西宮市人権・同和教育研究集会

【報告概要】

分科会	分散会	報告団体	報告の概要
5	社会教育「PTA」I	⑨ 【学習会】にしのみや子どもと学びネットワーク	わが子の不登校を通して、不登校の状況の説明の他、子どもの居場所や学び場、相談先の紹介など様々な情報をお伝えします。 <ul style="list-style-type: none"> ・全国・兵庫・西宮市不登校児童生徒の状況 ・過去の取り組みから、現在の取り組みの変化 ・子ども支援と親支援、地域の取り組み、ネットワークの大切さ ・「多様な学びの選択」がある事の世代間共有、社会的意識へアプローチ
6	社会教育「男女共生」II	⑩ 【講演】 山崎比呂志	「男子への性教育 実践から“今” 見えてきた課題」 講師・山崎比呂志さんは、1977年より兵庫県立高校に勤務。20歳半ばに生徒への性教育の必要性を痛感する出来事があり、2校目勤務先となった工業高校で“生と性を考える授業”をスタート。当時は男子生徒への性教育に関心が及ばない頃。教材がほぼ無い中、生徒との対話を重視した授業を重ねてこられました。 「性教育」は「人権教育」。山崎さんは不登校や被虐待、いじめ、デートDV被害・加害などへのリテラシーも高く、かかる生徒の相談や対応についても経験豊富な方です。扱いが難しいと思われがちな「性教育」ですが、山崎さんの砕けた語り口によって、ハードルがどんどん低くなっていく。そんな授業を、この機会に是非体験してみてください。
7	社会教育「その他社会教育関係団体」III	⑪ 西宮友の会	友の会は、月刊誌『婦人之友』の愛読者によって生まれた団体です。西宮友の会は1948年に創立、西宮・尼崎・宝塚・芦屋・伊丹、各市の会員が活動しています。 <ul style="list-style-type: none"> ○『わくわくひろば』『ちいさいこどものあつまり』 親子ともに生活を学び考える場として若い家庭や地域に働きかけています。 ○ 家事家計講習会 『家庭は簡素に 社会は豊富に』 家庭をよりよくすることから社会をよくしていきたいと願い、年代を超えた交わりを通して衣食住・家計・環境のことなどを学び合い、実際の生活で実践したことから地域に伝える活動をしています。
		西宮市社会福祉協議会	西宮市では30カ所以上の子ども食堂が地域住民による運営のもと開催されています。市内では貧困対策や子どもたちの孤食対策だけではなく、子どもたちを地域で育て・見守っていくことを目的としたコミュニティづくりを目的とした子ども食堂が多いです。そんな市内で広がる子ども食堂の概要を相談窓口を担う市社協からの報告に合わせて、実際に活動されている方からの生の声を報告します。
8	特別部会	⑫ 【講演】 仲島正教	演題 「西宮の教育は同和教育に始まり、同和教育に終わる」 58年前に刀祢館正也教育長が発した「西宮の教育は同和教育に始まり、同和教育に終わる」という言葉の意味をすでに知っているベテランの先生方をはじめ、この言葉を知らない若い先生方や人権について学び続けている皆さんと一緒に考えてみましょう。
9	人権啓発	⑬ 【講演】 前田 良	幼少期から性に違和感を感じ、性別を女性から男性に戻し、結婚、2児の父親になったが、父親として認められず裁判をおこし最高裁で逆転勝訴しました。 現在は、出会い、伝える活動を続けながら、学校でのカリキュラム、指導案の作成や出前授業、相談を受けています。 カテゴリで分けるのではなく、一人ひとりを受け止め、大切にされる世の中になるように学び続けていければと思います。